

第4章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

上越市第7次総合計画において、基本目標の1つに「支え合い、生き生きと暮らせるまち」を掲げ、地域社会における支え合いや助け合いによって、暮らしの安心感を高めるとともに、年齢や障害等の有無にかかわらず、誰一人社会から孤立することなく、住み慣れた地域で心身ともに健康で、自分らしく生きがいを持って暮らすことができるまちづくりを目指し、取組を進めます。

また、本計画の上位計画となる上越市第3次地域福祉計画においては、「誰もが居場所と出番をもって、共に支え合いながら、安心してすこやかに自分らしく暮らせる地域社会の実現」を基本理念に掲げ、関係機関と協力しながら、地域福祉の更なる推進に取り組むこととしています。

上越市第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画では、「誰もが居場所と出番を持って、共に支え合いながら、安心してすこやかに自分らしく暮らせる地域社会の実現」を基本理念に掲げ、障害のある人の支援体制の充実のほか、就労や社会参加の促進に向けた取組を進めてきました。

障害福祉を取り巻く環境は、障害のある人や家族の高齢化、障害特性に応じた切れ目のない支援など多様化・複雑化しており、障害のある人が「親亡き後」も安心して自分らしく暮らしていくことができるよう、支援体制の充実が求められています。

このような状況を踏まえ、本計画の柱となる「基本理念」については、以下のとおり、引き続き前計画の理念を継続するものとします。

【基本理念】

誰もが居場所と出番を持って、共に支え合いながら、安心してすこやかに自分らしく暮らせる地域社会の実現

(本計画における「出番」の意味)

地域全体で支え合う取組を安定的に継続させていくためには、行政や福祉関係事業者による支援はもとより、地域における住民同士の支え合い体制の強化など、住民の皆さんの主体的な参加による地域福祉を推進していくことが必要となってきます。

このため、本計画においては、地域住民の皆さんが地域福祉の向上のために主体的に行動している状態を「出番」と表現します。

2 目標

基本理念を実現するため、以下の3つの目標を設定し、各種施策を推進します。

▼目標1 住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための体制の整備を強化します

障害のある人を正しく理解し、個人の人格や個性を尊重し合うことを目指し、障害を理由とする差別の解消や障害のある人の権利擁護を推進するとともに、地域住民や関係機関と連携しながら、地域での見守り等を含めた重層的な支援体制の整備に取り組んでいきます。

▼目標2 利用者の意思が尊重され、本人の自立や介護する家族等を支援する障害福祉サービスの充実を図ります

障害のある人を、自らの決定に基づき社会のあらゆる分野における活動に参加する主体として捉え、障害のある人が自らの能力を最大限発揮し自己実現できるよう支援します。

障害のある人が自ら望む地域生活を継続していくために、障害福祉サービスや経済的支援の充実を図るとともに、自己決定の尊重と意思決定の支援に配慮しつつ、必要な支援等が行われることを推進します。

支援ニーズの多様化・複雑化に対応するため、事業者と連携し、サービスの質の向上及び人材の確保に向けた取組を推進していきます。

▼目標3 一人一人の出番を創出し、生きがいを持っていきいきと暮らせるまちづくりを推進します

障害のある人が自分らしく暮らしていくために、様々な活動に参加しやすい環境づくりを推進し、社会参加等による豊かな暮らしの実現を図ります。

障害のある人の就労支援のため、一人一人の適正やニーズに合った支援を提供するとともに、障害のある人もない人も、分け隔てなく雇用される地域社会を目指していきます。

3 計画の体系

